発行：城西大学水田記念図書館
〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL:049-271-7736 FAX:049-286-8126
mail：*library1@josai.ac.jp*
URL: https://ibopac.josai.ac.jp/

P. 1　巻頭言　P. 2-3　全国大学ビブリオバトル2026 ブロック予選 城西大学
P. 4　図書館員のおすすめ、アドバイザー通信、インフォメーション

Copyright © Josai University Mizuta Memorial Library All rights reserved.

城西大学水田記念図書館報
Book Mark
2026.11 vol.195

本の香り、図書館の香り

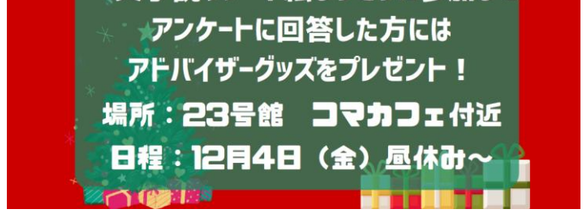
経済学部　教授　表 弘一郎

本には香りがある。「本屋さんのにおい」と言えばわかりやすいかもしれない。特に新刊書。新書、文庫、雑誌、単行本で香りは異なるのだが、新刊はだいたい同じだ。他方で、古本は「カビくさいにおいがする」と言う人もいるかもしれない。古本屋さんは最近少なくなったが、この方面に秀でた人は初めての街でも古書店の有無をなんとなく嗅ぎ分ける（昔ながらの「せどり」も少なくなったようですね）。私も古書店を察知しては吸い寄せられそうになるのだが、たいていは連れ合いに止められる。優れた古書店には素晴らしい古書たちがいて、頁を繰ると、その香りとともに彼/女らが生まれ過ごした時代の空気を甦らせる。

さらに洋書は格段の香りを放っている。紙の質の違いと言われるとそれまでなのだが、特に昔のフランスの本はペーパーナイフで切り開く必要があったことも相まって、たまらない香りを放っていた。ドイツの本にそれとは違う香りを感じ取るのは私だけだろうか（Suhrkampのtaschenbuchとか）。最近のドイツの本は環境対策でまた別の香りになりつつある。

本と同様、図書館にも香りがある。特に書庫がそうだ。温度と湿度が管理された書庫はどこの図書館でも近い香りを感じる。不思議なことに、マールブルク大学の図書館に潜入したときにも同じような香りを感じた（ドイツの大学図書館は私のような旅行者でも入れます）。気のせいかもしれないが。

さらに、大学の図書館は貴重図書と言われる「隠れたお宝」を持っていることが多いが、それらは別の意味でいっそう素敵な香りを放っている。私自身も各図書館HPで貴重図書コレクションを見つけては悦に入る方なので、「お宝」が気になって仕方がない。実は、本学にもそうした貴重図書がいくつもある（HP参照）。お暇なときに嗅ぎに行ってはいかがでしょうか。でもいきなり突撃はしないでくださいね（詳しくはカウンターの司書さんに訊いてください）。



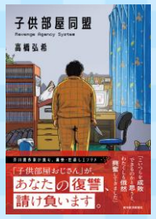
図書館HPや公式Xでは、役立つ情報をお知らせしています。また、図書館員がオンラインでも資料の相談を受け付けています。

図書館HP　図書館公式X　オンライン相談

図書館員のおすすめ

子供部屋同盟：Revenge Agency System

高橋弘希[著]. 東洋経済新報社
2025.11 2F図書 (913.6//Ta33)



ダークウェブ内の復讐代行サイト「子供部屋同盟」。復讐を請け負うのは氷河期世代の子供部屋おじ達だ。報酬は高水準の「復讐の動機レポート」のみ。
依頼人はパワハラ、痴漢冤罪、バイトテロ、万引き、いじめの被害者達。各分野に秀でたこどおじ達が復讐のために暗躍する、ほんのりコミカルで読後感明るいエンタメ小説。少しだけ坂戸や所沢が登場するのも埼玉民には嬉しいところです。

紹介者：齋藤（担当：利用者サービス）

1階　月別展示



薬剤師、メイド、営業、スパイ、棋士、殿さま･･･
主人公の職業に注目して、気になる小説やお仕事ガイドブックを集めました！

アドバイザー通信

2026年度「第1回SALA加盟館学生協働交流会」に参加しました

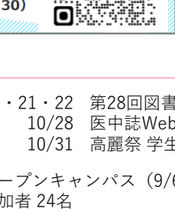
10月3日（土）、図書館にて「第1回SALA加盟館学生協働交流会」を開催しました。学生19名、職員11名が参加し、本学からは学生アドバイザー8名、職員3名が参加しました。本交流会は、埼玉県大学・短期大学図書館協議会（SALA）に加盟する大学図書館の学生協働団体同士が交流し、連携を深めることを目的としたイベントで、2024年度に始まり今年で3年目を迎えます。
今年度第1回となる今回は、ボードゲームやグループディスカッションを通じて参加者同士の交流を深めるとともに、各大学の活動や価値観を共有し、新たな気づきや学びを得ることを目的に実施しました。今後の学生協働交流会の運営や事業の展開を考えるうえで、大変有意義な機会となりました。



10月20日（火）～22日（木）に開催された「第28回図書館総合展」に出展・参加しました

ポスターセッション

学生アドバイザーが主体となり、今年度も力作となったポスターを出展しました。今年のテーマは「交流と学びをつなぐ図書館へ ー1階リニューアルによる変化ー」。リニューアルによりどのような効果が得られたのかを分析しました。



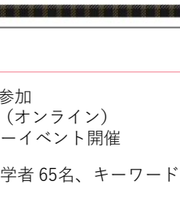
全国学生協働サミット

10月21日（水）に開催された「第10回全国学生協働サミットフォーラム」では、全国の大学図書館において協働して活動する学生・教職員の前で、学生アドバイザーの主な活動や企画したイベントなどを紹介しました。

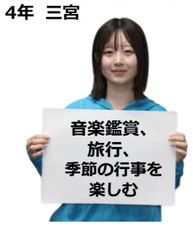


新規メンバー紹介

学生アドバイザーに仲間が2名加わりました！得意分野や好きな事を紹介します。



理学部化学・生命科学科
4年　三宮

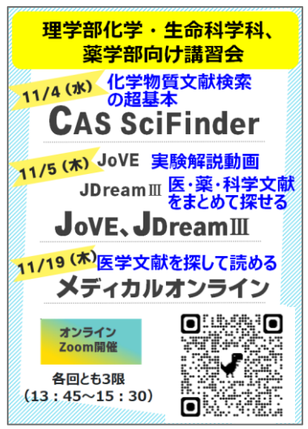


経済学部3年　渡部

インフォメーション









図書館彙報

10/3　第1回 埼玉県大学・短期大学図書館協議会（SALA）学生協働交流会に参加
10/7　全国大学ビブリオバトル2026ブロック予選 城西大学
10/8　「第10回鶴ヶ島市立図書館を使った調べる学習コンクール」審査会に出席
10/15　「第13回坂戸市立図書館を使った調べる学習コンクール」審査会に出席
10/18　鶴ヶ島市立図書館第36回図書館まつりに参加
10/20・21・22　第28回図書館総合展に参加
10/28　医中誌Web講習会開催（オンライン）
10/31　高麗祭 学生アドバイザーイベント開催

■　オープンキャンパス（9/6）図書館見学者 65名、キーワードラリー参加者 24名
■　図書館見学（10/6・9・14・18・23）高校生他282名

全国大学ビブリオバトル2026 ブロック予選 城西大学



10月7日（水）、図書館1階で「全国大学ビブリオバトル2026 ブロック予選 城西大学」を開催し、合計73名の方が今年のバトルを見届けました。 ビブリオバトルとは、制限時間5分間でおすすめの本を紹介しあう書評ゲームです。観客は一番読みたくなった本に投票し、「チャンプ本」を決めます。バトラーが発表した本と出場した感想を紹介します。

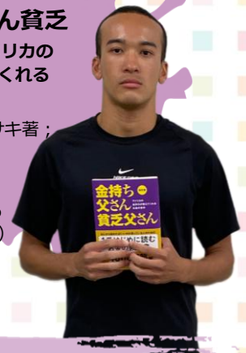
バトラー＆発表本 紹介

『今夜、世界からこの恋が消えても』
一条岬 [著]
（メディアワークス文庫）
ＫＡＤＯＫＡＷＡ
（2F 図書 913.6//I13）



経営学部2年 加藤さん

『金持ち父さん貧乏父さん：アメリカの金持ちが教えてくれるお金の哲学』
ロバート・キヨサキ著；
白根美保子訳
改訂版
筑摩書房
（1F 教員おすすめ
図書 159//Ki91）



経営学部2年 坂本さん

『給食のおにいさん』
遠藤彩見 [著]
（幻冬舎文庫）
幻冬舎
（2F 図書 913.6
//E59）



経営学部2年 清水さん

『バッタを倒しにアフリカへ』
前野ウルド浩太郎著
（光文社新書）
光文社
（1F 教員おすすめ
図書 486.45//
Ma27）



経営学部2年 村瀬さん

『新編 銀河鉄道の夜』
宮沢賢治著
59刷改版
（新潮文庫）
新潮社
（2F 図書 913.8
//Mi89）

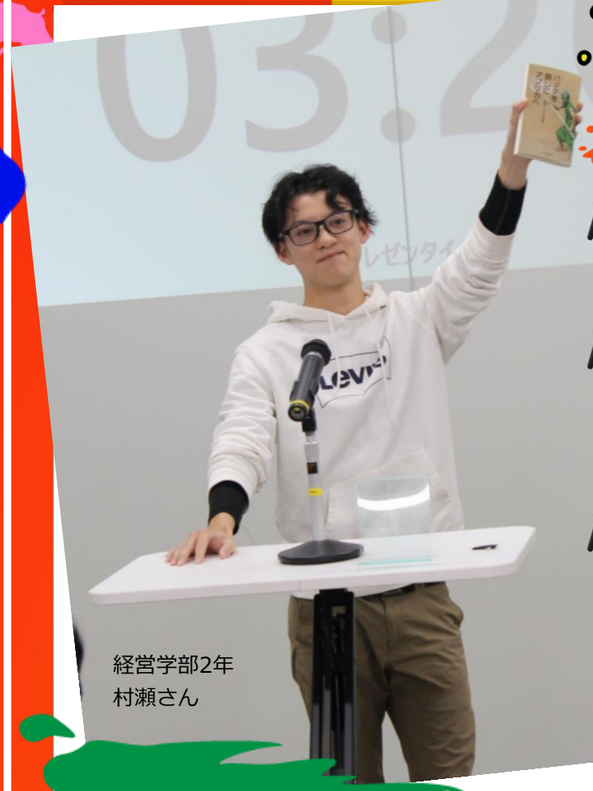


経営学部2年 岡村さん

『イルカみたいに生きてみよう』
小原田泰久著
大和書房
（3F 図書 146.8
//O27）



経営学部2年 梶山さん



経営学部2年
村瀬さん

チャンプ本

『バッタを倒しにアフリカへ』

前野ウルド浩太郎著 （光文社新書） 光文社

学生アドバイザーがインタビューしました

今のお気持ちは？

緊張したが、一周回ってスイッチが入った。うまく乗り切れたと思う。発表内容が飛んでしまったのが反省点。

今回の発表本を選んだ理由は？

選ぼうと思った本が3つあり、『時計じかけのオレンジ』と、星新一さんの『ショートショート』、そして今回選んだ『バッタを倒しにアフリカへ』。その中で表紙に最もインパクトがあった『バッタを倒しにアフリカへ』を選んだ。

地区決戦の意気込みをお願いします。

行けるところまで行きたい。高知まで行けたら美味しいものを食べて帰って来たい。

村瀬さんは、ブロック決戦（関東Bブロック：11月1日 紀伊國屋書店新宿本店）へ出場します

準チャンプ本

『新編 銀河鉄道の夜』

宮沢賢治著 59刷改版 （新潮文庫） 新潮社

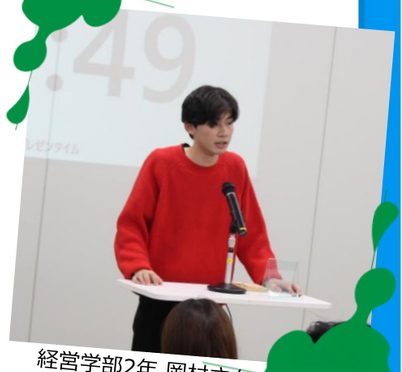
学生アドバイザーがインタビューしました

今のお気持ちは？

青天の霹靂。今回は鈴木先生から急に発表者として選ばれたため自主的ではなかったのだが、最後までやりきれてよかった。頑張ってよかったと思う。

今回の発表本を選んだ理由は？

昔から作者（宮沢賢治）が好きで、彼の生き方や考え方など尊敬するところが多かった。「銀河鉄道の夜」は今までで一番触れてきた本であり、かなりメジャーな作品のため観客の人にも伝わりやすい、親しみやすさを持ってもらいやすいのではと思った。



経営学部2年 岡村さん

ビブリオバトルに出場するにあたり、努力したことや苦労したことは何ですか？？

制限時間の５分間で話さなければいけない、PowerPointなどを見ることができないという状況で自分自身がこの本から何を得ることができたのか、どのような知見があったのかを伝えることについて意識的に努力した。練習の段階では発表する時間が余ったり逆に足りなくなったりしてかなり難しかった。

学生アドバイザー開催後記

今年も学生アドバイザーが司会と補佐を務めました



私は投票数のカウント・集計と準チャンプ本発表者へのインタビューを担当し、運営に関わりました。観客の方が非常に多く投票数の確認には苦戦しましたが、アドバイザーの仲間や図書館職員の方々と連携しながら乗り切ることができました！観客の方だけでなく、私たち開催する側も楽しみながら参加することができ、非常に有意義な経験となりました。

長谷川（経営学部４年）